

**プロ・ハイアマ向け大口径超望遠レンズ 2 機種を発売
大幅な小型・軽量化と高画質を両立**

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、プロフォトグラファーやハイアマチュアユーザー向けの大口径超望遠レンズ“RF800mm F5.6 L IS USM”および“RF1200mm F8 L IS USM”を 5 月下旬に発売します。



RF800mm F5.6 L IS USM



RF1200mm F8 L IS USM

“RF800mm F5.6 L IS USM”および“RF1200mm F8 L IS USM”は、大口径超望遠レンズとして大幅な小型・軽量化^{※1}を実現した「L (Luxury)」レンズです。「RF400mm F2.8 L IS USM」および「RF600mm F4 L IS USM」（両機種ともに 2021 年 7 月発売）と合わせて、RF レンズの「超望遠単焦点 L レンズシリーズ」のラインアップを拡充し、ユーザーの多様な撮影ニーズに応えます。

■ 光学技術を応用し大幅な小型・軽量化と高画質を両立

“RF800mm F5.6 L IS USM”および“RF1200mm F8 L IS USM”は、高い機動性と高画質を実現した「RF400mm F2.8 L IS USM」および「RF600mm F4 L IS USM」の光学系を受け継ぎ、本体後部に独自の拡大光学系を配置することで小型・軽量化と高画質を両立しています。ミラーレスカメラ用の大口径超望遠レンズとしては極めて軽量の焦点距離 800mm/1200mm のレンズの登場により、野生動物、航空機、スポーツなどの撮影シーンでユーザーの撮影領域の拡大に貢献します。

■ 最長焦点距離 1600mm/2400mm 相当の超望遠撮影が可能

“RF800mm F5.6 L IS USM”および“RF1200mm F8 L IS USM”に焦点距離をそれぞれ 1.4 倍、2 倍に伸長する別売りの「エクステンダー RF1.4×」「エクステンダー RF2×」（両機種ともに 2020 年発売）を装着することで、最長焦点距離 1600mm/2400mm 相当の超望遠撮影が可能です。エクステンダー装着時も AF や手ブレ補正機能が使用できます。カメラの高感度化とレンズの長焦点化によって、空港・港湾・河川などの監視用途への活用も期待されます。

■ 「L レンズ」にふさわしい耐久性と信頼性を追求

太陽光に含まれる赤外線反射率を高めた遮熱塗料を採用し、炎天下における屋外スポーツなどの長時間撮影でも、レンズの温度上昇を抑制します。また、マウント部、スイッチ部、フォーカスリングなどに防じん・防滴構造を採用^{※2}し、最高水準の性能を追求した「L (Luxury)」レンズにふさわしい信頼性を確保しています。

製品名	希望小売価格	発売日
RF800mm F5.6 L IS USM	オープン価格	2022 年 5 月下旬
RF1200mm F8 L IS USM		

※1 “RF800mm F5.6 L IS USM”は質量約 3,140g、“RF1200mm F8 L IS USM”は質量約 3,340g。

※2 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

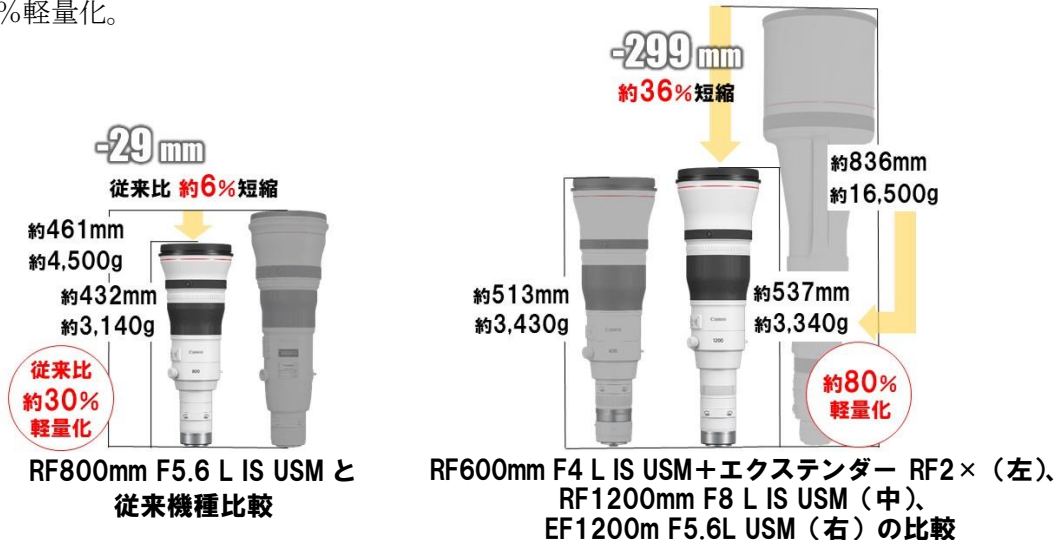
0570-08-0002

● E O S ホ ー ム ペ ー ジ : canon.jp/eos

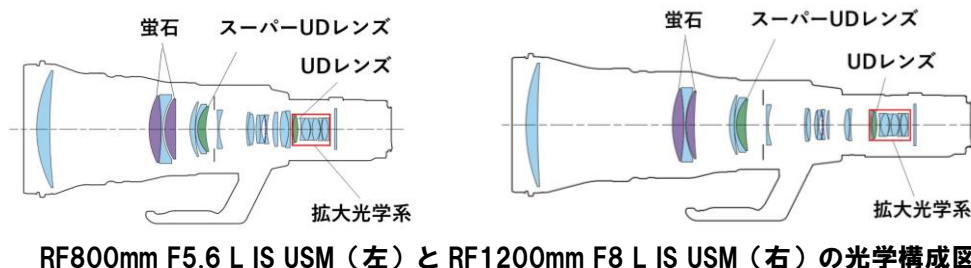
<主な特長>

1. 光学技術を応用し大幅な小型・軽量化と高画質を両立

- ・高い機動性と高画質を実現した「RF400mm F2.8 L IS USM」および「RF600mm F4 L IS USM」の光学系を継承。本体後部に独自の拡大光学系を配置して焦点距離を伸長。大口径超望遠レンズのミラーレスカメラ用としては極めて軽量の焦点距離 800mm/1200mm のレンズを実現。
- ・“RF800mm F5.6 L IS USM”は「EF800mm F5.6 L IS USM」（2008年5月発売）と比較して、全長を約 461mm から約 432mm へ約 6%短縮。さらに質量は約 4,500g から約 3,140g へ約 30%軽量化。
- ・“RF1200mm F8 L IS USM”は「エクステンダー RF2×」を「RF600mm F4 L IS USM」に装着した場合と同程度の全長、質量を維持しながら、本体後部の拡大光学系に UD レンズを採用することで、拡大された色収差を良好に補正。加えて拡大光学系を含めた高精度な光学調整により高画質を実現。
- ・“RF1200mm F8 L IS USM”は「EF1200mm F5.6 L USM」（1993年7月発売）と比較して、全長を約 836mm から約 537mm へ約 36%短縮。さらに質量は約 16,500g から約 3,340g へ約 80%軽量化。



- ・蛍石レンズ2枚とスーパーUD^{※1}レンズ1枚、UDレンズ1枚を含む18群26枚の光学設計により、軽量化と高画質化を両立。本体後部の拡大光学系の前方にUDレンズを1枚配置することで、拡大光学系により拡大される色収差を良好に補正し、高画質と長焦点距離化の両立を実現。
- ・特殊コーティング「ASC (Air Sphere Coating)」を採用し、画質劣化の原因となるフレア・ゴーストを抑制。
- ・レンズ内光学式手ブレ補正機構により、「RF800mm F5.6 L IS USM」は4.5段^{※2}、「RF1200mm F8 L IS USM」は4.0段^{※2}の手ブレ補正効果を実現。



※1 UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) レンズの性能を大幅に向上させ、UDレンズ2枚分、蛍石の特性とほぼ同等の効果を備えたレンズ。

※2 「EOS R」(2018年10月発売)、「EOS R5」(2020年7月発売)、「EOS R3」(2021年11月発売) 使用時。CIPA規格に準拠。Yaw/Pitch 方向。

2. 最大焦点距離 1600mm/2400mm 相当の超望遠撮影が可能

- ・“RF800mm F5.6 LIS USM” および “RF1200mm F8 LIS USM” に焦点距離をそれぞれ 1.4 倍、2 倍に伸長する別売りの「エクステンダー RF1.4×」「エクステンダー RF2×」を装着することで、最大焦点距離 1600mm/2400mm 相当の超望遠撮影を実現。エクステンダー装着後も AF 撮影や手ブレ補正機能が使用可能。



撮影位置のイメージ

RF800mm F5.6 LIS USM の撮影例

2400mm相当

3. 「L レンズ」にふさわしい耐久性と信頼性を追求

- ・太陽光に含まれる赤外線の影響を低減する高反射率の遮熱塗料を採用し、炎天下における屋外スポーツなどの長時間撮影でもレンズの温度上昇を抑制。
- ・マウント部、スイッチ部、フォーカスリングなどに防じん・防滴構造を採用。
- ・レンズ最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に除去することが可能。

4. 「EOS R システム」の高性能を生かす RF レンズ共通の機能

- ・レンズの絞り駆動制御の最適化により、「EOS R3」との組み合わせでは、電子シャッター撮影時における AF/AE 追従最高 30 コマ/秒の高速連写に対応。
- ・動画撮影時の絞り制御を 1/8 段の分解能で設定することができ、暗所から明所へ被写体が移動するシーンなどにおいて、明るさの移り変わりを滑らかに表現。

5. 快適な撮影をもたらす各種機能と充実した同梱アクセサリ

- ・被写体の動きに合わせて選択可能な、3 種類の「IS モード」を搭載。ポートレートや風景など静止している被写体に適した「IS モード 1」、モータースポーツや航空機の撮影などで用いる流し撮りに適した「IS モード 2」、スポーツなど不規則な動きの被写体に適した「IS モード 3」の 3 種類を使い分けることが可能。
- ・対応カメラ装着時、AF 中にフォーカスリングを回すことで、マニュアルフォーカスへ切り換え可能な「電子式フルタイムマニュアルフォーカス※1」を搭載。サーボ AF 中も切り換えすることができ、ピント合わせを任意にコントロールが可能。
- ・マニュアルフォーカスの速度を 3 段階から選択できる機能「マニュアルフォーカススピードスイッチ」を搭載。
- ・事前設定した 2 点までの任意の位置に速やかにピントを合わせることができる「フォーカスプリセット」を搭載。
- ・レンズファンクションボタン※2、パワーフォーカス機能、セキュリティスロットを搭載。
- ・レンズフード、レンズキャップ、三脚座、レンズワイドストラップ、レンズ持ち運び用のソフトケースを同梱。

※1 カメラの設定変更が必要。「EOS R」・「EOS RP」・「EOS Ra」は非対応。また、「EOS R5」・「EOS R6」は、Version1.3.0以降のファームウェアより対応。

※2 カメラの初期設定では、「AF ストップボタン」として機能します

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

<ご参考：超望遠単焦点Lレンズシリーズ>

キヤノンは新たに小型・軽量化した“RF800mm F5.6 L IS USM”および“RF1200mm F8 L IS USM”をラインアップに加えることで「RF400mm F2.8 LIS USM 」および「RF600mm F4 LIS USM」と合わせて、RF レンズの「超望遠単焦点Lレンズシリーズ」を拡充し、プロ・ハイアマチュアユーザーの多様なニーズに応え、撮影領域の拡大に貢献していきます。



「超望遠単焦点Lレンズシリーズ」